

# JBA NEWS

南カリフォルニア日系企業協会 会報 (月刊)



September 2011  
Issue No. 275

## CONTENTS

- JBA Foundation  
Charity Golf Tournament ..... 1-5
- 第147回ビジネスセミナー... 6-7
- JBA50年の歴史を振り返る  
(第5回)..... 8
- 異業種交流会..... 9
- 各部会からのお知らせ..... 10-11

Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 270, Gardena, CA 90248  
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>

### Event

教育部会

## 炎天下でも笑みが絶えない 第18回JBA Foundation Charity Golf Tournament 開催

### September / October Event Calendar

- 9/9 (金)  
第148回ビジネスセミナー  
(企画広報部会)
- 9/10・11、/17・18 (土・日)  
ソフトボール大会  
(企画広報部会)
- 9/24 (土)  
DT 懇親ゴルフ大会  
(ダウスタウン地域部会)
- 9/29 (木)  
異業種交流会  
(企画広報部会)
- 10/2 (日)  
オーロラ南こうぜつコンサート鑑賞  
(ダウスタウン地域部会)
- 10/8 (土)  
現地校セミナー  
(オレンジ・カウンティ地域部会)
- 10/16 (日)  
パンプキンパッチ  
(オレンジ・カウンティ地域部会)
- 10/21 (金)  
第149回ビジネスセミナー  
(企画広報部会)
- 10/30 (日)  
ハロウィンピクニック  
(サウスベイ地域部会)
- OC Harvest  
(オレンジ・カウンティ地域部会)



去る7月16日、Tustin Ranch Golf Clubにて、第18回JBA Foundation Charity Golf Tournamentを開催した。これは、教育部会とJBA Foundationが主催のチャリティーイベント。収益金は、日本人子弟が通うアメリカ公立学校の教師や関係者らを日本に派遣する「USEJ / US Educators to Japan」プログラムの運営資金となる。今年はキャンセルなしの総勢116人が、熱戦を繰り広げた。

(→次ページに続く)

(→1ページから続く)

## 教育部会

# 第18回JBA Foundation Charity Golf Tournament開催

### 116人が参加の ゴルフ大会開始

晴天に恵まれた Tustin Ranch Golf Club。少々日差しはきついが、芝の緑と空の青さがとても美しい、爽やかな朝だった。午前10時までにボランティアメンバーは集合し、朝礼と持ち場の打ち合わせや準備で慌ただしく働いた。今年のボランティアは21人（うち午後のみが2人）。例年よりも少ない人数での対応となり、会場の設営や土産袋の準備、備品の整理やゴルフ場スタッフとの打ち合わせなど、念入りに準備に取りかかっていた。



早朝から打ち合わせを行うスタッフ



景品の袋詰めなど、念入りにすべてをチェックする

午前11時、受け付け開始。駐車場に車を停めた参加者らが、続々と集まり始めた。愛用のゴルフバッグを係員に預け、会社名と名前を伝えて受け付けを済ませていく。

このチャリティーゴルフでは、受け付け時に色々な“特別チケット”を買うことができる。例えば、困った時のお助けチケット「プロによる代打券」や、打ち損じた時に大助かりの「打ち直し券」などが販売される。スコアを上げるには、こうしたチケットをうまく使うことがキーとなる。「売上金はすべてチャリティーになりますので、いかがですか？」と、スタッ



受け付け開始。徐々に活気づく



ドライビングレンジで、ショットの最終調整

フはチケット販売に一生懸命。その甲斐あってか、多くの参加者らが購入していた。

受け付けを済ませると、参加者らは早速ドライビングレンジで、ドライバーやアプローチの練習を開始。パッティングの練習に没頭する参加者も見受けられた。皆、和やかに練習を行っているものの、表情には「トップを狙ってやる!」という意気込みが現れていた。

正午過ぎで練習は終了。参加者らは、ラウンドするグループ別にカートに乗り込んだ。カート内で昼食を取り、開始を待つ。12時20分、ズラリと並んだカートの前に、内山教育部会長が挨拶に立った。内山部会長は、同ゴルフトーナメントの主旨を説明し、「それでは皆さん、今日1日、大いにゴルフを楽しんでください!」と、激励した。

そして、一斉にカートが出発。116人は、意気揚々と自分の開始



パッティングを練習する参加者も多くいた



挨拶をする内山教育部会長



カートが一斉に出発!

ホールへと散っていった。

### 真剣勝負の中にも 笑いを絶やさずラウンド

午後12時30分。各ホール一斉にショットガンスタート。オナーが、緊張のティーショットを放った。

今年も色々な賞品が協賛企業から提供されたが、やはり目玉はホールインワン賞。3、6、11、17番ホールに用意され、それぞれ Kawasaki Motors から「2011MY Z1000」、HONDA から「Insight」、MAZDA から「Mazda 6」、そして、

LOS ANGELES  
DOWN TOWN

325 E. First Street  
Los Angeles, CA 90012  
Phone: (213) 617-2000  
Fax: (213) 617-2700  
www.miyakohotel.com

Experience Modern Japan in An All New Green Environment.

**MIYAKO  
HYBRID  
HOTEL**  
TORRANCE, CALIFORNIA

21381 S. Western Avenue  
Torrance, CA 90501  
Phone: (310) 212-5111  
Fax: (310) 212-5112  
www.miyakohybridhotel.com

Yamaha Motor から「YAMAHA Star Motorcycle - Stryker 1300」が、ティー脇に堂々と展示されていた。これらのホールに回って来たプレーヤーたちのモチベーションは一気に高揚。ウィットネスのボランティアの熱い視線を受けながら、ティーショットを放っていた。どのプレーヤーも、気迫に満ちたショットを披露したが、残念ながら今年もホールインワンは出なかった。

10 番ロングホールでは、恒例の「プロ代打サービス」が行われ、どのグループも大いに盛り上がった。これは、同ゴルフクラブの契約プロが代打ちするもの。そのパワフルなスイングと、風のかんに関わらず飛距離を伸ばす安定したテクニックに、参加者らは「すごい」と唖然。その見事なショットに魅せられ、その場で急

きよ代打ちチケットを購入する参加者もいた。また、「自分との戦いだから、代打なんてダメだよ」と言うストイックな参加者も、そのショットを見た瞬間、

「やっぱり、私もお願い…」と、照れ笑いしながら購入する様子も見られた。たまにショットがズレた時などは、「あれれ。じゃ、もう1回サービスするからね」と再度ドライバーを振るプロ。その愛嬌が笑いを誘った。

17 番ホールでは、サークルショットが行われた。これ



1A グループ。(左から) 小山さん (Ernst & Young LLP)、木下 JBA 会長 (Mitsubishi International Corporation)、崎山さん (Panasonic Corporation of North America)、西田さん (Toyota Motors Sales U.S.A., Inc.)



1B グループ。(左から) 小島さん (KPMG LLP)、堀江 JBA Foundation 会長 (Mizuho Corporate Bank, Ltd., Los Angeles Branch)、岩永さん (Pillsbury Winthrop Shaw Pittman LLP)、蒲原さん (Willis Insurance Service of California)

は、カップを中心とした直径 15 フィート以内にティーショットを寄せれば、50 ドル獲得できるもの。これも毎年盛り上がる企画で、今年は、Mazda North American Operations の湊さんと、Mizuho Corporate Bank, Ltd., Los Angeles Branch の堀江さんの 2 名が、見事 50 ドルをゲットした。こうして、最高のゴルフ日和の中、ケガや病人が出ることなく、スムーズにプレイが進行した。

午後 6 時頃になると、ホールアウトした参加者らが続々とバンケット会場となるクラブハウスへ戻って来た。どのプレーヤーの顔も、日焼けで赤く火照っている。

スコアの良し悪しにかかわらず誰もが満足そうな表情で、ビールやワインを片手に、アワードディナーの始まりを待った。

**豪華賞品に大盛り上がり  
突如のサプライズも登場!**

いよいよアワードディナーが始まった。昨年に引き続き、司会は Bridge USA の石井さん。漫談を始めるかのような慣れた様子で、会場を大いに盛り上げた。

最初に、木下 JBA 会長が挨拶に立った。

「今日のスコアはいかがでしたか? どなたも気持ち良くプレイを終えていただければうれしいです。今日のイベントは、JBA Foundation と教育部会の皆様のご尽力で、無事開催されました。本当にお疲れさまでした。また、各スポンサー企業様へもお礼申し上げます。収益金は、USEJ プログラムの運営資金として活用されます。同プログラムにより、これ



真剣そのもの。周りに緊張が走る



プロの代打に大喜び!



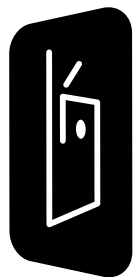
男性には負けてはいられません。女性も大活躍!



思わずプロと感謝の握手!



サークルショット賞の湊さん(左)と堀江さん



**KDDI  
MOBILE**



**KDDI Mobileが選ばれるのには理由があります。**

**24時間サポート**

日本語なので安心

**デポジット不要**

SSNが無くても簡単に契約

**日本語メール**

日本語対応機種ぞくぞく登場

**月額\$19.99~**

日本への国際電話も格安

Android™2.1搭載スマートフォン

**SANYO**



機種価格  
(2年契約の場合)

**\$69**

アメリカの携帯電話サービス

24時間日本語カスタマーサポートセンター

**1-877-533-4117**

ウェブサイト

**www.kddimobile.com**



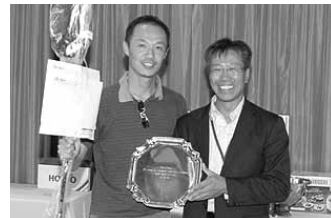
大会の目的・意義を説明する木下 JBA 会長  
大会運営に尽力したスタッフを労う堀江 JAB Foundation 会長



乾杯で始まったアワードディナー



ANA のビジネスクラス・ペアチケットを見事獲得した松永さん。左が西さんで、右が千賀さん



見事優勝した阿佐美さん。右は内山教育部会長

までたくさんのアメリカ現地校の先生や教育関係者を日本に派遣してきましたが、どの方もとても日本を好きになって戻って来られます。今回の大震災発生時にも、そういった方が率先して支援活動を展開してくれました。こうした活動を続けることで、日米関係はより深まっていくと確信しております。

続いて、堀江 JBA Foundation 会長が挨拶を行った。

「本日のチャリティイベント開催にご尽力いただいた皆様へ、お礼申し上げます。また、多くの企業、個人にスポンサーとなっていただき、ありがとうございました。USEJ プログラムは、日米関係を深化させるためにとても重要ですので、このゴルフ大会の意義もとても大きいです。

その後、ライブオークションの開催を皮切りに、ベストグロス賞、ドラコン賞、ニアピン賞、プービー賞などが発表された。

続いて、気になるスコア発表が行われた。今回は、全日空の成田＝ロサンゼルス線就航 25 周年を記念して、同社から 25 位のプレー

ヤーに特別に賞が贈られた。石井さんから、「賞品は何と、羽田＝ロサンゼルス間のビジネスクラス・ペア搭乗券です!」と、賞品が明らかにされた瞬間、場内からは大歓声が巻き起こった。

サプライズはこれだけではなかった。賞品のプレゼンターに、ANA の現役キャビンアテンダントが登場。男性がほとんどを占める場内からは、地鳴りのような低い声で「うお〜」と歓声が起こった。プレゼンターとして駆け付けてくれたのは、千賀さんと西さん。千賀さんは現在の制服を、西さんは 25 年前の制服を着用して登場し、その新旧の制服姿に、参加者らは釘付けになっていた。そのラッキーな 25 位に輝いたのは、Mizuho Corporate Bank, Ltd., Los Angeles Branch の松永紳哉さんだった。

ベスト 3 位の発表となった。第 3 位は、Deloitte Touche Tohmatsu の Littleford さん、2 位は Isuzu North America Corporation の小村嘉文さん。それぞれ電子書籍の携帯端末「Kindle」とデジタルレコーダーが贈

られた。

そして、栄えある優勝者が発表された。めでたく 1 位になったのは、ネット 68.4 の成績を残した Calsoft Systems の阿佐美 善之さん。その素晴らしい成績が発表されると、会場からは大きな拍手が贈られ、ティファニープレートの盾と、450 ドル相当のドライバーが手渡された。

続いて、ラッフル抽選会が行われた。デルタ航空の成田(羽田)＝ロサンゼルス往復エコノミークラス・ペアチケット、JAL の成田＝ロサンゼルス往復プレミアムエコノミークラス・ペアチケットな

ど、豪華賞品がたくさん用意され、ゴルフの疲れもまったく感じさせないほど大盛り上がり。

最後に、内山教育部会長が壇上に立ち、「USEJ プログラムで 1 人でも多くの先生を日本に派遣することで、日米の信頼関係を築き、「Away」のアメリカを「Home」にしていきたいと思います。今日は、本当にありがとうございました」と言う閉会の挨拶で幕を閉じた。

今年度の大会収益は 7 万 4155 ドルでした。参加者、およびスポンサー企業の皆様、ありがとうございました。



教育部会のボランティアメンバーの皆さん。本当に、お疲れさまでした!

**まかせて安心、お中元・暑中見舞は JAL ショッピング**

**JAL Shopping**  
Americas

特典がご利用頂けます。  
JAL FAMILY CLUB  
JAL MILEAGE BANK  
VISA/AMEX

www.jalshoppingam.com  
Toll Free 1-800-252-5725 JALUX AMERICAS, Inc.

## 第18回JBA Foundation Charity Golf Tournament 成績発表

## ■順位賞

順位	氏名	会社名	Gross	H.C.	Net
1位	ASAMI, YOSHIYUKI	Calsoft Systems	78	9.6	68.4
2位	KOMURA, YOSHIFUMI	Isuzu North America Corporation	82	10.8	71.2
3位	LITTLEFORD, JOEL	Deloitte Touche Tohmatsu	83	10.8	72.2
7位	OHDATE, SATOSHI	Pioneer North America, Inc.	78	4.8	73.2
10位	TAKAMIYA, KATSUYA	Mitsubishi Electric & Electronics USA, Inc.	94	20.4	73.6
18位	TAKAYANAGI, HISASHI	American Suzuki Motor Corporation	91	16.8	74.2
20位	TAMAI, TOSHIYUKI	California Steel Industries, Inc.	90	15.6	74.4
25位	MATSUNAGA, SHINYA	Mizuho Corporate Bank, Ltd., Los Angeles Branch	92	16.8	75.2
30位	KONDO, EISUKE	Sumikin Bussan Int'l Corp. CA Office	103	27.6	75.4
40位	DEKURA, PAUL	CLEVELAND GOLF / SRIXON USA	80	3.6	76.4
50位	HANAFUSA, FUMITOSHI	CLEVELAND GOLF / SRIXON USA	100	22.8	77.2
60位	SHIMIZU, MICHIO	Yakult U.S.A. Inc.	97	19.2	77.8
70位	SERIZAWA, MITSUGU	Manufacturers Bank	86	7.2	78.8
80位	GOLDMAN, BENJAMIN	Littler Mendelson, P.C.	95	15.6	79.4
90位	HAYAKAWA, MASAKI	Mitsui Sumitomo Marine Management (U.S.A.), Inc.	95	14.4	80.6
100位	KATO, TOMONAO	Nissin International Transport U.S.A.	106	24.0	82.0
110位	ISOBE, HIROTAKE	Nippon Life Insurance Co. of America	113	30.0	83.0
Booby	TAKAHASHI, ATSUSHI	Tokio Marine Management, Inc.	106	21.6	84.4

## ■ベストグロス賞

男子	KATO, TOSHIZUMI	Yamaha Motor Corporation, U.S.A.	74
女子	ISHII, JUNKO	TriCom Quest	102

## ■ドラコン賞

男子	KAWAGUCHI, TOM	Ernst & Young LLP	15番ホール
女子	KELLY, CHIHO	Ernst & Young LLP	9番ホール

## ■ニアピン賞

	OHDATE, SATOSHI	Pioneer North America, Inc.	3番ホール
	SHIROMI, YASUSHI	Grubb & Ellis Company	6番ホール
	FUJISAWA, MASAHIKO	Union Bank	11番ホール
	HORIE, TAKASHI	Mizuho Corporate Bank, Ltd., Los Angeles Branch	17番ホール

(敬称略)

## 第18回JBA Foundation Charity Golf Tournament 協カスポンサーリスト

## ■ Grand Sponsors

Ernst & Young LLP  
KPMG LLP  
Union Bank

## ■ Special Sponsors

Alpine Electronics of America, Inc.  
Aratani Foundation  
CLEVELAND GOLF / SRIXON USA  
Deloitte Touche Tohmatsu  
Kawasaki Motors Corp., U.S.A.  
Mitsubishi Electric & Electronics USA, Inc.  
Mitsubishi International Corporation  
Pillsbury Winthrop Shaw Pittman LLP  
Pioneer North America, Inc.  
PricewaterhouseCoopers LLP  
Tokio Marine Management, Inc.  
Toyo Tire Holdings of Americas Inc.

## ■ Cart Sponsors

Sanyo Foods Corporation of America  
Yokohama Tire Corporation

## ■ Lunch Sponsors

Fujitsu Frontech North America, Inc.  
JFC International Inc.

## ■ Tee Sponsors

American Honda Motor Co., Inc.  
FedEx Services  
Hotta Liesenberg Saito LLP  
Kakimoto & Nagashima LLP  
Kintetsu Enterprises Company of America  
Koiso & Co., CPA  
Marsh Risk & Insurance Services  
Mizuho Corporate Bank, Ltd., Los Angeles Branch  
Nagano Morita LLP  
Ricoh Electronics, Inc.  
Sumitomo Corporation of America

## ■ Range Ball Sponsors

American Suzuki Motor Corporation  
Denso Sales California, Inc.  
EOS Accountants LLP  
Freeman, Freeman & Smiley, LLP  
Konami Digital Entertainment, Inc.  
Mizuho Corporate Bank, Ltd., Los Angeles Branch  
Taisei Construction Corporation  
Takuyo Corporation (Lighthouse)  
Wakunaga of America Co., Ltd.

## ■ Player Sponsors

Aioi Nissay Dowa Insurance Company of America  
American Koyu Corporation  
California Steel Industries, Inc.  
Calsoft Systems  
CLEVELAND GOLF / SRIXON USA  
Denso Sales California, Inc.  
FedEx Services  
Fuji Electronics America, Inc.  
Glovia International Inc. (a Fujitsu Company)  
Grubb & Ellis Company  
Hampstead USA Marketing Research, Inc.  
Hino Motors Manufacturing U.S.A., Inc.  
Hochiki America Corp.

Hotta Liesenberg Saito LLP  
Isuzu North America Corporation  
KDDI America, Inc.  
Kintetsu Enterprises Company of America  
Kirin Brewery of America, LLC  
Manufacturers Bank  
Marukome U.S.A., Inc.  
Mazda North American Operations  
Mitsui & Co. (U.S.A.), Inc.  
Mitsubishi Electric Visual Solutions America, Inc.  
Mitsui Sumitomo Marine Management (U.S.A.), Inc.  
Mr. Benjamin E. Goldman (Littler)  
Nakano Aviation, Inc.  
Nippon Express U.S.A., Inc.  
Nippon Life Insurance Co. of America  
Nissin International Transport U.S.A.  
Nissin Travel Service (U.S.A.), Inc.  
NTT DOCOMO USA, Inc.

Panasonic Corporation of North America  
Quest International LLC  
Reed Smith LLP  
The Shizuoka Bank, Ltd., L.A. Branch  
Sompo Japan Insurance Company of America  
Sumikin Bussan Int'l Corp. CA Office  
Sumitomo Electric U.S.A., Inc.  
TK Holdings Inc.  
Total Computing Solutions of America, Inc.  
Toyota Motor Sales U.S.A., Inc.  
TriCom Quest  
USJIP Business Advisors LLC  
Willis Insurance Services of California  
Yakult U.S.A. Inc.  
Yamaha Motor Corporation, U.S.A.

## ■ Cash Donors

Citizen Watch Co. of America, Inc.  
Hochiki America Corp.  
Kaga (U.S.A.), Inc.  
KOBELCO COMPRESSORS AMERICA, INC.  
Mitsubishi Motors North America, Inc.  
Nippon Express U.S.A., Inc.  
Otafuku  
Yamaha Corporation of America

## ■ Hole in One Sponsors

American Honda Motor Co., Inc.  
Kawasaki Motors Corp., U.S.A.  
Mazda North American Operations  
Yamaha Motor Corporation, U.S.A.

## ■ Prize Donors

Adecco  
All Nippon Airways Co., Ltd.  
ANA Trading Corp., U.S.A.  
Angeles National Golf Club  
Asahi Beer U.S.A., Inc.  
Calbee America Inc.  
CLEVELAND GOLF / SRIXON USA

Delta Air Lines Inc.  
Diamond Generating Corporation  
Eagle Vines Vineyards & Golf Club  
Epson America, Inc.  
FedEx Services  
Fifth Third Bank  
Hayward Tilton & Rolapp Insurance Associates, Inc.  
Hisamitsu America, Inc.  
Hokto Kinoko Company  
House Foods America Corporation  
HRM PARTNERS, INC.  
Japan Airlines Co., Ltd.  
Jennifer Jewelry Corp.  
JFC International Inc.  
Kay Communications, Inc.  
Kintetsu Enterprises Company of America  
Kirin Brewery of America, LLC  
KITAGAWA & EBERT, P.C.  
Kotobukiya (KOTO INC.)  
KYOTO GRAND HOTEL AND GARDENS  
Manufacturers Bank  
Marukome U.S.A., Inc.  
Mazda North American Operations  
Mitsubishi Electric & Electronics USA, Inc.  
Mitsui & Co. (U.S.A.), Inc.  
MRC GOLF, Inc.  
NHK Cosmopedia America, Inc.  
Morinaga Nutritional Foods, Inc.  
Nikkei America, Inc.  
Nissin Foods (U.S.A.) Co., Inc.  
NNR Global Logistics USA Inc.  
Panasonic Corporation of North America  
Pentel of America, Ltd.  
Perkins Coie LLP  
S&B International Corporation  
Sapporo U.S.A., Inc.  
Sushi Boy, Inc.  
Taisho Pharmaceutical California, Inc.  
TAKAOKAYA USA, Inc.  
TEAC America, Inc.  
Toho Company, Ltd.  
TOP Los Angeles  
Toshiba America Info. Systems, Inc.  
Toyota Tsusho America, Inc.  
Tustin Ranch Golf Club  
USJIP Business Advisors LLC  
WDI International, Inc.  
Yaegaki Corporation of USA  
Yakult U.S.A. Inc.  
Yonekyu U.S.A., Inc.  
Zojirushi America Corporation

## ■ Special Thanks to...

All Japan News (Sushi and Tofu)  
Bridge USA, Inc.  
FujiSankel Communications International, Inc.  
Japan America Television, Inc.  
Magicbell Communications, Inc.  
Rafu Shimpo-Los Angeles Japanese Daily News  
Takuyo Corporation (Lighthouse)  
The Japanese Daily Sun  
U.S. FRONTLINE NEWS, INC.  
United Television Broadcasting Systems, Inc.  
Weekly LALALA, LLC  
(アルファベット順)

企画広報部会

第147回ビジネスセミナー

# 「『米国新会計基準』『収益認識』と『リース』 ～ IFRS とのコンバージェンスの潮流の中で～」開催

去る7月22日、トーランスのミヤコハイブリッドホテルで、第147回JBAビジネスセミナーを開催した。当日は、米国大手会計事務所のKPMG LLPから、前川武俊氏、瀧浦晶平氏、錦織倫生氏の3名が講演。会計基準の国際的統一化が要請される中で、日系企業に影響の大きいFASB（米国会計基準の設定主体）の「収益認識」と「リース」の公開草案を取り上げやその概要、変更点、現行実務への影響など、事例を交えながら解説した。



## <前川武俊さんの講演>

### 日米における IFRS 採用の現状



「収益認識」プロジェクトの最新動向を話す前川さん

2009年6月30日、日本の金融庁（企業会計審議会・企画調整部会）は、IFRS（国際財務報告基準）の取り扱いについて中間報告を公表しました。この中で、国際的な財務事業活動を行っている一定の企業の連結財務諸表に、10年3月期からIFRSの任意適用を認めました。また、「12年を目処に、日本企業にIFRSを強制適用すべきか否かを判断する」ことが表明され、仮に上場企業の連結財務諸表に強制適用する場合には、「少なくとも3年の準備期間を設定する」という方向性が示されていま

した。しかし、11年6月21日に、自見金融担当大臣から、「少なくとも15年3月期における強制適用は考えておらず、仮に強制適用する場合であってもその決定から5～7年程度の十分な準備期間の設定を行うこと」という発言があり、日本におけるIFRS適用の気運は若干ブレーキがかかった状態にあります。

一方アメリカでは、SEC（米国証券委員会）は、基本的に高品質な単一の会計基準をサポートする立場を表明していて、「エンドースメント・アプローチ」と「コンバージェンス・アプローチ」を折衷した「コンドースメント・アプローチ」という考え方を提示しています。SECは、11年中に米国の企業会計制度にIFRSを取り込むか否かを判断する予定になっています。

### 収益認識基準案の概要と その適応範囲

収益認識の公開草案はFASBとIASB（国際会計基準審議会）の共同プロジェクトで、両基準のコンバージェンスだけでなく、「あらゆる種類の契約・業界に適用できる単一の収益認識基準を確立する」ということを目的としています。FASBおよびIASBは、10年6月24日に公開草案を公表して、同年10月22日のコメント期限ま

で合計970通のコメントを集め、11年6月末までの最終基準書の公表を目標として審議を続けていました。結局、11年6月末までに最終基準書は公表できず、極めて珍しいことですが、再公開草案を11年10月初旬に公表して120日間のコメント期間を再度設けることになりました。

公開草案で提示されている収益認識モデル案は、①顧客との契約の識別、②契約における個々の履行義務の識別、③取引価格の決定、④取引価格の履行義務への配分、および⑤履行義務を充足した時点での収益の認識という5つのステップから構成されています。

収益認識基準の公開草案は、工事進行基準を適用している建設業界、ソフトウェアと関連サービスを提供しているソフトウェア業界、携帯電話と電話サービスを提供している通信業界等に特に大きな影響を与えると思われます。一方で、複数の引渡物（Multiple deliverables）を伴う販売取引がまったくない商品販売業の場合には、大きな影響がない可能性もあります。

## <瀧浦晶平さんの講演>

### 公開草案の与える影響と 借手の会計処理の概要

2010年8月17日に公表されたリース会計に関する公開草案は、同年12月15日にパブリックコメントの締め切りがなされ、その後も審議は継続して進められていますが、現時点において最終確定されていません。特に貸手サイドの会計処理モデルについては見解が分かれ、今後大幅な見直しがなされる見込みですので、本日のセミナーでは借手サイドの会計処理モデルについてフォーカスをしてご説明します。

公開草案がリースの借手に与える影響として、以下の3つが挙げられます。

1つ目は、すべてのリースの「オンバランス」化です。これにより資産・負債が増加し、負債比率等主要な業績指標・契約条項への影



瀧浦さんは、わかりやすい事例を基にリース会計を解説

響が考えられます。

2つ目は、各期の損益に与える影響です。リース期間を通じて見ると、現行の会計処理に比べて、費用が前倒して計上される傾向になると考えられます。

3つ目は、新たな負債測定的基础として、負債の再評価がなされるということが挙げられます。

なお、これら3点は会計処理面での影響ですが、資産のリースをオンバランス化するに当たり、オンバランス化するための計算や見積りの手間や計算に必要な各種の情報収集といった実務面での作業の負荷（コスト）が生じるということも影響の一つと言えるでしょう。

次に、公開草案における借手サイドの会計処理モデル（使用権モデル）の概要について簡単に説明します。使用権モデルでは、原則としてすべてのリース取引につき、リース開始時に使用権資産とリース負債を認識します。この際、リース負債は将来の見積リース期間における見積支払リース料の割引現在価値で測定し、使用権資産はリース負債の金額に初期直接原価（リース契約を締結するために必要なコスト）を加算して測定します。

なお、リース負債の当初測定時のリース期間の見積りに当たっては、契約要素、資産要素、市場要素や賃借人に特有の要素を考慮し、借手にとって経済的インセンティブがあるかという観点から検討します。また、将来のリース料の見積りに当たっては、残価保証やリース中と解約違約金、実質的には固定額と見なされる変動リース料等も考慮します。

当初認識・測定後は、リース負債は実効金利法を用いて償却原価で測定しますが、リース契約の延長選択権や原資産の購入選択権の行使に関する借手の経済的インセンティブの評価の見直しにつながるような事象が生じた場合は、期末日においてリース負債を再評価することとされています。他方、使用権資産については、リース資産と原資産の耐用年数のいずれか

短い期間にわたって、無形資産に適用される基準に従い、規則的に償却することとされています。また、使用権資産は減損会計の対象となります。

前記のような会計処理を行った結果、リース取引は借手の決算書上、以下のように表示されます。

#### ①財政状態計算書

- リース負債を、他の金融負債とは区分して表示する。
- 使用権資産を自社保有の資産とは区分して、有形固定資産の内訳項目として表示する。

#### ②包括利益計算書

- 償却費及び支払利息を他の償却費及び支払利息と区分して表示する（これらを注記のみで開示することも可）。

#### ③キャッシュ・フロー計算書

- 元本および利息の返済を、他のキャッシュ・フロー項目とは別個に財務活動によるキャッシュ・フローの区分に表示する。

収益認識の公開草案とは異なり、リースの公開草案は、業界にかかわらず（リースを利用している）すべての会社に影響があると思われる。

#### <錦織倫生さんの講演>

### IFRS 適用に伴う 決算日統一の要請

IFRS 適用に伴い、要請される可能性が高い決算日の統一についてご説明します。

IAS27 号の 22 項に、「親会社連結財務諸表における親会社・子会社の個別財務諸表は、同一決算日にて作成される」と明記してあります。つまり、親会社が3月決算日であるならば、子会社も3月決算日を使うということで、これが基本原則（対応案①）となります。

これには例外規定があり、親会社と子会社の決算日は必ずしも統



「IFRS 適用と決算早期化」を話す錦織さん

一しなくても構いません。その代わりに、例えば親会社連結決算日が3月末で子会社の決算日が12月末の場合、“実現不可能でない限り”、親会社の決算日（3月末）において子会社は財務情報を作成（仮決算を実施）する必要があります（対応案②）。

また、IAS27 号 23 項によると、仮決算が実現不可能であった場合、子会社はそれすら実施しないでいいのですが、親会社・子会社の異なる決算日の間に生じた重要な取引、および事象に関して調整を行う必要があります（対応案③）。対応案③を選択する場合、実現不可能であることをどう証明するかがキーになります。

### IFRS 準拠への対応と 決算早期化の必要性

次に、IFRS 準拠への対応に伴う決算早期化の必要性を見てみましょう。対応には前述の通り3つあります。

対応案①は、基本ルールである「決算期の統一」です。決算期を変更する子会社は、親会社の連結決算スケジュールを順守すべく決算早期化対応が必要となります。例えば、3月末決算の親会社に対して、子会社が12月末で決算しパッケージを3月中旬に提出しているケースを考えてみます。決算日統一により、子会社決算日を親会社の決算日（3月末）に変更した場合、子会社決算情報は親会社の連結に使用されるため、一般的には4月中旬（15日前後）までに

提出される必要があります。つまり、75日ほどあった子会社決算スケジュールが、一気に60日間縮まって15日間になってしまいます。

対応案②は、子会社は従来決算に加えて親会社の決算日で仮決算を行うものです。子会社の仮決算日は親会社決算日と同一であるため、仮決算において早期化対応が必要となります（前記の例で言うなら、3月末の子会社仮決算情報を4月15日までの15日間で作成する必要があります）。

対応案③は、子会社決算日における決算書を親会社が異なる決算日にて取り込んだ上で、親会社・子会社の決算日の間に生じた重要な取引、および事象に関して調整を行う方式です。対応案③を選択する場合、重要事項の調整がキーとなります。重要取引（事象）というのは理論上、子会社が子会社の決算日（12月末）に決算した財務情報と、親会社の決算日（3月末）にて決算した財務情報の両財務情報の差となります。すると、正確かつ網羅的に重要取引（事象）を把握するためには、子会社は3月末で仮決算する必要が出てくる可能性があります。この3月末における仮決算に準ずる重要取引（事象）の情報収集には、実は早期化対応が必要になります。

このように、対応案①、②、③のどれについても早期化対応が必要となることが考えられます。ですから、いずれにせよ早期化が必要になるなら、対応案②、③のように子会社本決算に加えて仮決算を実施するよりは、決算日を統一して1度だけ本決算を実施する方が得策とも考えられます。

なお、決算早期化を達成するには、会社内（特に決算チーム）の対応だけでなく、決算監査、JSOX、税務申告にかかわる対応等、他の部署や外部専門家を含めた対応が必要となります。また、決算日の変更時にはシステム変更や変則時決算の対応に加え、担当当局への報告対応も必要となりますので、そのあたりにもご注意ください。

# JBA 50年の歩みを振り返る

## 第5回 (1997~2001年)

1961年に発足したJBAは、今年3月に50周年の節目を迎えました。本欄では、その50年の歴史を連載でご紹介します。

1990年代、「失われた10年」と呼ばれる平成不況の只中、会員企業数は減少を続け、南カリフォルニア日系企業の苦戦をうかがわせた。99年のITバブルに先駆け、JBAではインターネット・ホームページを開設。以降、定期的にアップデートを加え、現在に至る。

99年には、現地の教育者を日本に派遣する「USEJプログラム」が25周年を迎えた。これを記念して、25周年記念誌を発行し、これまでのプログラム参加者を集め、イベントを行った。

2000年には、JBAの地域貢献が評価され、外務大臣表彰を受けたほか、婦人部のバザー収益金寄付活動で、州知事らから表彰された。JBAの3本柱の一つである「地域貢献」が公的に認められた年になった。

新世紀に入って9・11テロが起き、南カリフォルニアの日系企業にも激震が走った。テロ犠牲者への義捐金募集活動を行ったほか、危機管理対策セミナーなどを緊急に実施した。

### JBA 年表 (1997~2001年) (※は写真の番号)

- 1997年 インターネット・ホームページ開設  
日系企業調査実施
- 1998年 運転免許証問題取り込み  
「南カリフォルニア日系企業協会」の名称を公募で採用  
婦人部会がJACCのPresident's Awardを、OCJAAから功労賞を受賞
- 1999年 JBAプロシユア作成  
USEJ25周年事業-25周年記念誌の発行とこれまでの参加者の会合 ※1
- 2000年 地域貢献評価され、JBAが外務大臣表彰を受ける ※2  
バザー収益金寄付金に対し、婦人部が州知事らから表彰
- 2001年 堺屋太一さん講演会を実施  
9・11テロ犠牲者への義捐金寄付  
日系コミュニティへの献血活動を提唱、実施

※1

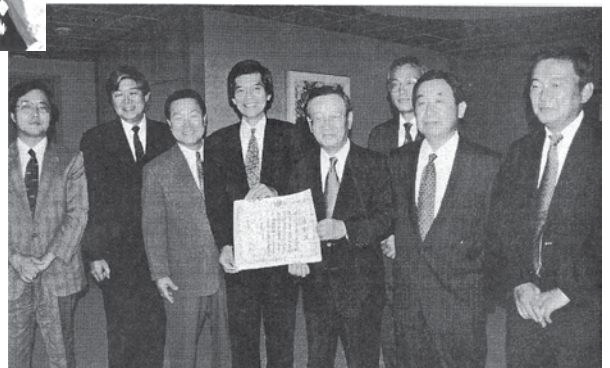


USEJ25周年記念行事として、これまでのプログラム参加者を集めて会合を行った(99年)

婦人部会による敬老ナーシングホーム・母の日コーラス慰問(98年)。現在は、サウスベイ地域部会が引き継いでいる



※2



2000年、JBAは外務大臣表彰を受けた。写真中央左は、西田恒夫総領事(当時)、中央右が葉山JBA会長(当時)



二世ウィークでのJBAとあさひ学園のバレード(97年)



世界標準のスマートフォン  
BlackBerry® Curve™ 9300



DOCOMO USAがお届けするアメリカの携帯電話サービス  
DOCOMO USA Wireless™

今なら端末が  
**\$80**※  
お申し込み時に  
コード【JBAN】を  
お伝えください

入力・表示が  
**日本語**  
でできる!

料金プランは  
**月額\$15**から  
ご用意!

余った通話分は  
**翌くりこし**  
でおトク!

※2年契約・データオプションサービスをお申し込みの場合

Mitsuwa  
トランス店内に  
サポートデスクも!

●お問い合わせ/お申し込みは

1-888-DOCOMO1

3 6 2 - 6 6 6 1

Eメール la\_sales@docomo-usa.com

詳細は www.docomo-usa.com/jp

●本広告の内容は変更になる場合がございます。●データオプションサービスには別途料金が必要です。●表示金額には、契約事務手数料、各種税金、国際ローミングや国際通話など別途ご利用に応じて課金される料金、その他サービス料などは一切含まれておりません。●余った通話分のくりこしは、翌月1か月のみ有効です。●プランを変更された場合、無料通話分の翌月くりこしはできません。●「BlackBerry®」および関連する名称、ロゴはResearch in Motion Limitedの商標および登録商標です。●「DOCOMO USA Wireless™」は株式会社NTTドコモの商標です。●写真はイメージです。

NTT  
docomo  
NTT DOCOMO USA, Inc.



# 企画広報部会 前回大好評のワイナリーで ミキサー開催

去る7月28日、企画広報部会の主催で異業種交流会(通称ミキサー)を開催した。場所は、ロサンゼルス・ダウンタウンのワイナリー「San Antonio Winery」。レンガと木材を基調にした暖色のレストランで、ワインを傾けながら和やかに会は進んだ。  
(注:皆さんのお名前は左端から)



Pacific Guardian Lifeの大橋さん、Manufacturers Bankの芹澤さん、Ernst & Youngのケリーさん。「初めてですが、とても楽しいです。たくさん友達を作りたいですね」(ケリーさん)

JTBの新田さんと、ロサンゼルス日本国総領事館の小池さん。「久しぶりの参加で、今回もたくさんの方に会え有意義です」(新田さん)、「色んな方とお会いできて楽しいです。海外で、このような日本人の集いに参加するのは初めてです」(小池さん)



ANAの君島さんと、TRICOM QUESTの千葉さん。「久しぶりの参加ですから、ほとんどの方が初対面。来て良かったです」(君島さん)、「こうして色んな方とお会いできる機会が少ないので、とても貴重です」(千葉さん)

Nippon Express USA, Inc.の米澤さん、VANTEC WORLD TRANSPORT (USA), INC.の板本さん、Nippon Express USA, Inc.の石伐さん。「初参加です。たくさんの方がいらっちゃってビックリしています」(米澤さん)、「私も初参加です。今日は仕事柄、貿易関係の方とお話をしたいです」(板本さん)、「まったく違う業種の方と会えて、とても勉強になります」(石伐さん)



Interface in Design, Inc.の森原さん。「ロサンゼルスにこんなステキなことがあったんですね。赴任したばかりですので、こういった会はとてもありがたいです」

two milesの松山さんと、DCMの杉崎さん。「ワインを飲みながら、どの方もリラックスしている雰囲気です」(杉崎さん)、「とても楽しいです。お酒が飲めないので、ソフトドリンクで楽しみます」(松山さん)



Deloitte & Touche LLPの西川さんと、日本から訪米中の三浦さん。「思った以上に盛況で、皆さん積極的。とてもいいイベントだと思います」(西川さん)、「ロサンゼルスの方の、日本社会やビジネスを盛り上げようという意欲を感じます」(三浦さん)

ライトハウスの和山さんと高橋さん。「まだまだ新米ですから、今日は色んな方とお話しできて勉強になりました」(和山さん)、「今日は積極的に、たくさんの方とお話させていただきます」(高橋さん)



Dentsu Americaの木村さんと篠田さん。「初参加ですが、こんなに盛り上がるとは思っていませんでした」(木村さん)、「普段お会いできない方にご挨拶させていただき、いい機会でした」(篠田さん)

**自動車リース**は  
アメリカでクレジットが無いと  
出来ないと思いませんか???

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でもOK!
- 全米どこでもOK! どんな田舎でも、都会でもOK!
- どんな車種でもOK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でもOK!
- リース期間は1年からOK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 金利は5.45%と格安です。(2005年9月現在)
- 納車は注文からわずか一週間ほどで可能です!
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。



\*現在このリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様にも全米でご利用いただいております。

いえ、  
**出来るんです**  
どなたでも、全米どこの町でもOK!

お気軽に電話または  
e-mailでお問い合わせください。

電話 : 213-621-7775  
担当は 大橋: ohashi3@pacbell.net  
又はゆきまさ: yukimasa@pacbell.net

**特報** カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リースもありますので、在庫車種をお問い合わせください。

\*各種情報はウェブサイトでもご覧になれます。  
[www.LaJapaneseAuto.net](http://www.LaJapaneseAuto.net)

親切で安心して任せられる25年の実績と信頼 (トヨタ車で1980年創業)  
**LOS ANGELES JAPANESE AUTO**  
810 E.1st St., Los Angeles, CA 90012 • Tel: (213) 621-7775 • Fax: (213) 687-0909

## 企画広報部会

### 第48回ソフトボール大会 対戦組み合わせが決定



9月10日、11日、17日、18日に開催する第48回ソフトボール大会のトーナメント抽選会を、去る8月5日にミヤコハイブリッド・ホテルにて行いました。昨年優勝の三菱電機から、優勝旗と優勝トロフィーが熊崎企画広報部会長に返還されました。各チーム代表による抽選の結果、参加52チームの対戦相手が決定しました。

今年も会場はハンティントンビーチのCentral Park Sports Complex (18100 Golden West St.) です。昨年に引き続き、10日(土)の午前8時30分からは、JBA役員チームと日系アメリカ人選抜チームの親善試合を行います。多くの方の応援を期待しています。

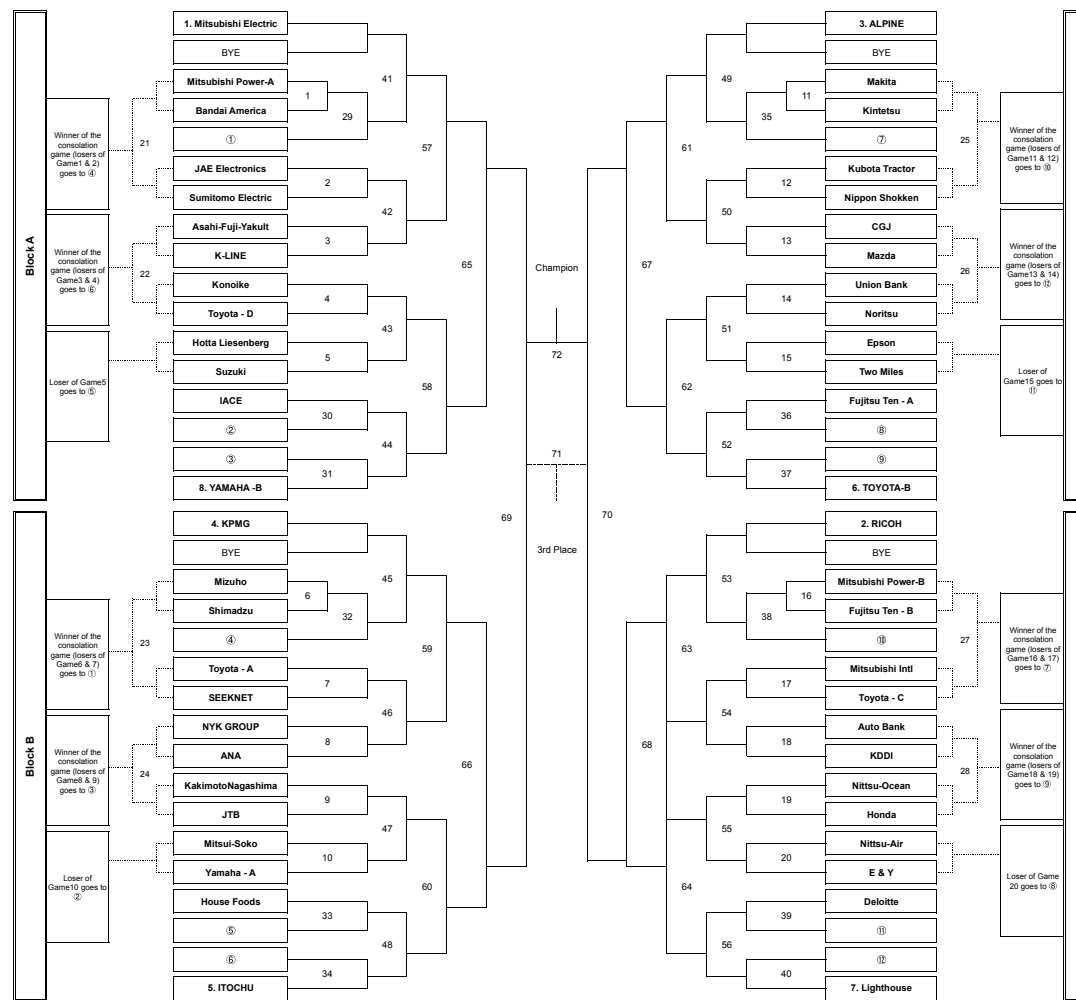


### 異文化交流会 ミキサーを開催

来たる9月29日(木)、午後7時から、レドンドビーチの「Cheesecake Factory」(605 N. Harbor Dr., Redondo Beach)にて、異業種交流会(ミキサー)を開催します。参加費は、JBA会員15ドル、非会員は30ドルです。パーキングは、2.50ドルのパーレーパーキングとなります。ドリンク類は各自のご負担となります。

申し込みはEメールにて、JBA事務局の森(mori@jba.org)まで。

## 第48回JBAソフトボール大会組み合わせ



詳細はJBAのウェブサイト(www.jba.org)をご覧ください

### ビジネスセミナー 開催のお知らせ

来たる9月9日(金)、午前9時30分から正午まで、ミヤコ・ハイブリッドホテル(21381 S. Western Ave.)にて、第148回ビジネスセミナー『『変動経済の中での労働経費管理』-雇用法に関するリスク・マネージメント-』を開催します。講師には、北川&イバート法律事務所の北川リサ美智子弁護士をお迎えします。

大不況が続き、日本企業には米国での存続・競争が厳しくなっている中、アメリカ日系企業に向けた労働経費管理について、価値の

あるアドバイスをいただきます。また、ただ問題に対応するというだけでなく、事前準備と課題への積極的なアプローチの仕方など、実践的なガイダンスを提供いただきます。

参加費は、JBA会員は無料。申し込みはEメールにて、JBA事務局の森(mori@jba.org)まで。

### オレンジ・カウンティ地域部会

#### オレンジ・カウンティ 現地校セミナー開催

来たる10月8日(土)、Irvine Unified School District 会議室(5050 Barranca Pkwy.)にて、第18

回オレンジ・カウンティ「現地校セミナー」を、アーバイン統一学校区の協力を得て開催します。本セミナーは、新規赴任や引越等による学校区変更、入学、進級に伴う新環境下での現地校生活に不安をお持ちの保護者にとって、通訳を介して日本語で現地校の先生方からアドバイスを得ることのできる絶好の機会です。

本セミナーは3部構成です。第1部では、アーバイン学校区からの同地区教育内容における説明とアドバイス、第2部では現地校に通う日本人子女のとのパネルディスカッション、そして、第3部では小グループで、現地校の現役教師

オレンジ・カウンティ地域部会

独立記念日“花火”の楽しみ方

文・嶋 英晃さんの夫人・里佳さん Mitsubishi Power System Americas Inc

「わぁー花火が近いねえ〜!」。  
このJBAイベントに参加した次女の素直な感想です。主人の米国赴任に伴い、カリフォルニアで生活を始めてから4年。7月4日の独立記念日には、アメリカ人は昼はバーベキューを楽しみ、夜は近くの湖畔で花火を見て盛り上がるものと思っていました。  
今年は、我が家もJBAからご案内いただいた自宅近郊のVerizon Wireless Amphitheater（野外劇場）で開催されるPacific Symphony Orchestraによる演奏と同じ舞台での、打ち上げ花火を鑑賞に行きました。  
野外劇場周辺では、多くのアメリカ人が家族、友達、またはその場で隣り合わせた見知らぬ人(?)と一緒に、ワインやビール片手にピクニックを楽しんでいました。我が家も“日本式”ピクニック料理であるおにぎり、玉子焼き、から揚げとビール少々で参戦。  
ほろ酔い気分のまま野外劇場に移動すると、米国国歌、クラシック楽曲演奏に続き、エルビス・プレスリーの50's、60'sナンバーをオーケストラが奏で、現代のプレスリー(?)が歌い上げるといふ、これぞアメリカ式エンターテインメントショーを楽しみました。  
クラシックのリズムと打ち上げ花火が織り成す見事なハーモニーで、最後に盛り上がりは最高潮に達し、独立記念日の夜を満喫しました。

オレンジ・カウンティ地域部会

OCの自然を守るボランティア活動に参加

文・寺島 康さん Toshiba America Information Systems, Inc.

8月14日、オレンジ・カウンティ地域部会の地域貢献イベント「Upper Newport Bay 自生植物保護活動とピーター・メアリームットセンター見学」に参加しました。当日は、JBA会員とご家族27名が集まり、オレンジ・カウンティの環境保護に取り組む団体「OC Parks」の指導の下、自生植物を保護し、外来種を伐採するお手伝いをしました。少々蒸し暑かったものの晴天の下、水撒きや種まきをしたり、シャベルや剪定はさみを使って、トレイルの邪魔になる雑草・雑木を伐採したりしました。普段はあまり気が付きませんが、こういった作業をしてくれる方のおかげで、トレイルが整備されて

いることを改めて実感しました。  
また、休憩時には敷地内のピーター・メアリームットセンターを見学し、Upper Newport Bayに生息する各種野生動植物やその歴史についても学ぶことができました。館内で飼育されている蛇やタランチュラを実際に見ることもできました。  
オレンジ・カウンティに存在する守るべき生態について理解を深めると共に、自然の中で健康的な活動ができたことは、皆さんにとって素晴らしい経験になったのではないかと思います。



あさひ学園

トランス校・校舎修復工事

あさひ学園事務局

現在、あさひ学園トランス校が借用しているサウス高校において、大規模な校舎の修復工事が行われている。この工事は来年6月の完成を目途に行われ、本年度1学期の6月途中から現地校の夏休みを利用しての突貫工事が始まった。これに伴い、あさひ学園も臨時に学校を移転せざるを得なくなり、教育委員会から指定されたPCHを隔てたリチャードソン中学に移すことになった。  
当初は、9月半ばにサウス校に戻る予定となっていたが、急遽2学期の第1週目から戻るように通達があり、その準備で大わらわであった。移転は簡単なことではなく、急な準備が必要とされるが、借用校の悲しさと言うべきか、教育委員会からの通達には従わざるを得ないところがあり、生徒たちや保護者、また当校教員には、煩わしい移転が強いことになった。  
幼稚園と小学部1、2年の低学年は、リチャードソン中学の正門で乗降が許されたが、3年生以上はサウス校のパーキングに駐車し、歩いてリチャードソン中学まで保護者同伴で登校せねばならず、朝のうちはまだしも、午後の帰りは炎天下で、まことに気の毒であった。  
特に今回はPCHを横断せねばな



らず、交通の安全には一番気を遣った。その結果、何の事故も起きずに1学期を終えられたことは、保護者の協力の賜物と感謝せねばならない。あさひ学園の通学風景を見ていた近所の人たちは、「さすがに日本の学校だ!」と感嘆していた。うれしい風評であった。  
まだまだ工事は継続して行われており、今後も保護者の協力が必要とされる。

東日本大震災義捐金  
ご寄付一覧表

JBAに寄せられた皆さまからの義捐金は、事務局でとりまとめ、「Japan Platform」(www.japanplatform.org)に定期的に送金しています。

- 企業**  
3 PLUS LOGISTICS CO.  
ASAHI GAKUEN  
Celly Services, Inc.  
Environmental, Health & Safety Services  
CSUDH ASSOCIATED STUDENTS INC.  
D & G Agency and Marketing, Inc.  
Engel & Volkers, Irvine  
Global Dining, Inc. of California  
Japanese American National Museum  
Karen's Cleaners Inc.  
Love from P to J (PVP HS)  
Marukome U.S.A., Inc. & its Staff

- 個人**  
Agishi, Akiko  
Amador, Luisito  
Aono, Yoshie  
Carey, Yukiko  
Faas, George  
Harris, Carolyn & George  
Horita, Shigemi  
Komiya, Takeshi  
Lee, Robert & Maya  
Naito, Yoshihiko  
Nara, Kyoko  
Oshima, Yoshitaka  
Rathgeber, Marlo  
Risch, Eiko  
Rogan, Maria  
Takenaka, Hideo  
Tang, Vicky  
Urcia, Belinda & Abdon  
Wurmbrand, Mihai & Mi Son  
Yamashita, Yoshinori  
(敬称略・アルファベット順)

【訂正】

本紙8月号6ページのセミナー報告記事内で、「米国では“Plea”を提出することから訴訟が始まります」とありますが、正しくは「米国では“Complaint”を提出することから」でした。ここに訂正いたします。

主管者変更

- Japan National Tourism Organization  
Hidenao Takizawa  
⇒ Daisuke Tonai  
Mitsui & Co. (U.S.A.), Inc.  
Shiro Tomeoki  
⇒ Masumi Muroi

とのQ&Aセッション（通訳付）を行う予定です。

なお、JBA会員以外の方も参加可能です（有料）。詳細、および申し込みは、JBA事務局の奥永（☎ 310-515-9522・E-mail: okunaga@jba.org）まで。

発行 : 南カリフォルニア日系企業協会 (JBA)  
 編集 : JBA 企画広報部会  
 企画広報部会長 : 熊崎 猛 (Sumitomo Electric U.S.A., Inc.)  
 副部会長 : 米本恭庸 (Kintetsu Int'l Express (USA), Inc.)  
 : 西脇義浩 (TSUCHIYA U.S.A. CORPORATION)  
 部会員 : 松本修一 (Consulate General of Japan)  
 : 井筒謙一 (DCM Creations, Inc.)  
 : 西川周作 (Deloitte Touche Tohmatsu)  
 : 中川 仁太郎 (Epson America, Inc.)  
 : 伊藤三郎 (Ernst & Young LLP)  
 : 常盤 由美子 (Fifth Third Bank)  
 : 朝山 孝 (GLOBAL TAX ADVISORY OFFICE)  
 : 黒田順子 (Interface in Design)  
 : 太田吉信 (Japan National Tourism Organization)  
 : 宮崎貴哉 (JETRO, Los Angeles)  
 : 吉野真史 (JTB USA, Inc.)

西森克矢 (KDDI America, Inc.)  
 前川武俊 (KPMG LLP)  
 川嶋達也 (Lighthouse)  
 三木幸平 (METRO SIGNS, INC.)  
 松浦光芳 (Mizuho Corporate Bank, Ltd.)  
 小栗史隆 (OYO Corporation U.S.A.)  
 手島嘉彦 (Taisei Corporation)  
 鶴浦 真紗子 (Ted Tokio Tanaka Architects)  
 オークランド典子 (Torrey Pines Bank)  
 吉山恭子 (Union Bank)  
 葉 英祿 (US Remac, Inc.)  
 水野真琴 (Yamato Transport U.S.A., Inc.)

制作協力 : Lighthouse

(社名アルファベット順)

## JBA「絆 KIZUNA」プロジェクト

### 震災復興支援 絆Tシャツ完成!

好評につき  
追加発注決定!!

カラー:白・赤・紺  
サイズ:S・M・L・XL



JBA企画広報部会では、東日本大震災から1日も早い復興を願い、サブコミティー『絆 KIZUNAプロジェクト』を発足させ、長期かつ継続的な支援活動を行っています。この度、復興支援「絆 Tシャツ」を制作し、15ドル以上のご寄付をいただいた方に差し上げております。職場、友達、家族揃ってご愛用いただき、「絆」の輪を拡げていきましょう!

■お問い合わせは、JBA事務局:森 (☎310-515-9522/E-mail:mori@jba.org) まで

\*集まったご寄付は、JBA Foundationを通して、外務省、経団連等も運営に関与する「Japan Platform」([www.japanplatform.org](http://www.japanplatform.org)) に送金いたします。

三菱UFJフィナンシャル・グループの一員として、国際取引と資産運用の豊富な知識と経験をもったスタッフが、お客さまの将来設計のお手伝いをいたします。詳しくは、日本語フリーダイヤル、または各支店までお問い合わせください。  
 電話番号: 1-800-532-7976 受付時間: 月~金 午前8時~午後5時 (米国太平洋時間)

Gardena  
310-354-4724

Irvine  
949-250-0877

Little Tokyo  
213-972-5511

Los Angeles  
213-236-7705

Los Angeles  
The Private Bank  
310-767-5879

Montebello  
323-726-7568


South Gardena  
310-532-5875

Torrance  
310-373-8411

West Los Angeles  
310-915-7110

Member FDIC ©2011 Union Bank, N.A. Visit us at [unionbank.com/japanese](http://unionbank.com/japanese)

 **UnionBank®**  
Invest in you®

 三菱東京UFJ銀行